

小野／僕は緑。自然がたっぷりのところから。でも町にはたまに荒地のように荒れている所もあって、完全な緑とは言えないかもしれない…。

町長／やっぱり町を象徴する確かなイメージがあって、初めてそのカラーも出てくるものなんだね。これは町づくりにも言えることなんだけれど。



やいけないし、大きな店とか、人が集まる条件を揃えていかないと…。

町長／そうだね。その意味では伊達町は大きな可能性を持つ町です。徐々に人口が増加しているし、その受け皿として現在「志和田前団地」の造成に着手している。また伏黒地区でも大規模な区画整理計画が持ち上がっています。

望が多いんですが、町のバスを中学校が借りられるようにして欲しいです。部活動の遠征の時など、いつも民間のバス会社から借りているので、費用もたくさんかかってしまって…。

佐藤／僕は、さっきの話にも出たように、伊達町は人口が増加しているので、箱崎団地のような広い敷地の団地などを造って欲しいです。そうすれば、新しく町にやって来る人も、ゆとりある暮らしができるんじゃないかと思えます。

絢／私は、阿式隈川を「青」というイメージにして、噴水とかがある公園を造ったら、伊達町にももっと人が集まっていいと思えます。

小野貴史君（中学2年生）
バレエ部新人チームの主将。スポーツは何でもおまかせ。



「緑の多い町」というのもっと具体的に言う？

では、将来の伊達町はどうなっていきたいと思えますか？

佐藤／「人がすごしやすい町」というのがいいと思います。例えば緑が多いとか、公園があるとか。そういうのが「住みよい町」だと思うのですが…。

絢／私も。緑が多い伊達町が好きなので、未来の子供たちのためにも、緑をたくさん残して欲しいと思えます。

小野／僕は工業、商業などが、ほかの町と比べて、まだ追いつかないところがあるので、産業がもっと発達した町になって欲しい。

井石／そう、活気のある町というか。あと、緑や公園もそうだけど、ほかの様々な施設も充実しているといいな。

佐藤／活気ある町づくりには、「ひと」の問題も欠かせないと思うんだけど。

井石／と言うと？

佐藤／人口がもっと増えること。それには住宅地をちゃんと整えなきゃ

小野／町民みんなが楽しめる大きな公園があることかな。

井石／公園だけでなく、街路樹も増やして欲しい。

佐藤／身近なところに緑があれば、空気もきれいになるしね。

絢／今ある山や森を残して、その周りを開発すれば、緑の多い伊達町になると思います。

町長／時代を反映してか、環境問題には皆さん大きな関心があるようですね。



小野／農業地域では排水路が途中で止まっている所があるので、ちゃんとなつなげて欲しいです。それから、学校の体育館。天井が低かったり、ちょっと狭く感じる時があるので、どんなスポーツにも使える広い体育館があるといいと思えます。中学校は今、改築中で、新しい体育館が楽しみなんですけど、できる頃には僕は卒業しているので、ちょっと残念(笑)。

町長／はい、わかりました。今日うかがった皆さんの意見を、今後の町づくりに役立ててゆきたいと思えます。どうもありがとうございました。

一同／ありがとうございました。

(進行役／近藤三男伊達町助役)

では最後に、町について皆さんから町長へお願いをして下さい。

井石／はい。これはクラスの中でも要



小野 絢さん（中学2年生）
バレエ部で活躍する一方、趣味は料理・読書という14歳。